

はっことどもえん えんだより 2022ねん

7期：1月10日～2月13日



4歳児：お家

社会福祉法人 種の会

幼保連携型 認定こども園 はっことども園

〒657-0855

神戸市灘区摩耶海岸通2丁目3-14

TEL：078-805-3810

FAX：078-805-3820

携帯：080-3033-1952

Mail：hat@tanenokai.jp URL：<http://www.tanenokai.ed.jp/>

種の会 法人本部Mail：tanenokai@jupiter.ocn.ne.jp



★ 体調管理について

インフルエンザにかかった場合、感染力が強く、流行のスピードも速いため、学校伝染病に指定されています。そのため、治癒後は、医師による登園許可をもらった上で登園してください。

その際には『意見書』（職員室にありますので、職員にお尋ね下さい）に医師の証明をいただき、ご持参下さい。

その他、園での体調変化があり、ご連絡した場合は早めの対応・処置をお願いします。

日頃から、しっかり食事を摂り、うがいや手洗いをしっかり行ない、十分な睡眠をとるように心掛けて体調管理に気をつけましょう。

★ 緊急連絡先について

保護者の方の連絡先（携帯電話・勤務先など）に変更があった場合、すぐに園へお知らせください。

★ ウォッチマンについて

園庭で黄色のビブスを着ている職員はウォッチマンです。仕事内容は子ども達全体の様子を把握し安全・管理に努めています。仕事に集中するためにも黄色のビブスを着ている職員への声かけはご遠慮ください。必要の際には、他職員へ声かけをお願いします。

★ 駐車場の利用について

車で送迎される方は、10分以内を目安に駐車場を空け、交代で多くの方にご利用いただけるようご協力よろしくをお願いします。





☆わたしたちの保育と中期計画☆

園長 ^{かたやま} 片山

あけましておめでとうございます。新型コロナウイルス感染症対策と向き合ってもうすぐ2年になろうとしています。今年も新たな変異株が出現してくるかもしれませんが、可能な限り正しく恐れて、子ども達や保護者の皆様にとって面白いことが待っている園、期待をもって登園したいと思えるような園にしたいと願っています。

保護者の皆様には、何かとご協力を頂くことがあるかと思えます。職員一丸となって、子ども1stの理念に向かって園文化を創りあげていきたいと考えております。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

園は、保護者の皆様や地域社会から理解と参画を得ながら、信頼され魅力ある園づくりを進めたいという考えをもっています。そのため「エカーズ＝保育環境評価スケール」という取り組みを6年以上継続し、今年度も姉妹園等の外部の方に来園してもらい、実施しました。これは、空間構成や子どもの展示物などの室内環境面、食事・排泄・保健衛生などの養護面、言葉・自然・音楽や微細運動などの活動面、大人と子ども、子ども同士などの相互関係面、など計約30項目からなる指標に基づいて評価するというものです。それぞれの項目に基準があり、点数をつけてもらうこととなります。「保育に点数をつける」ということに対して、批判的な見方をされることがあります。確かに園文化や保育方針に合わない項目がいくつかありますが、客観的な指標があることで環境構成や保育者の関わりにおいて役立つ面が大いにあることを実感します。評価を受けるということに後ろ向きの方々がおられますが、保育で起こっていることは形に残りにくく、実践を可視化させにくいです。だからこそ内部だけに留まらず、外部からの目線に触れて学ぶことも大切であると私たちは思っています。

今年度は法人全体としても「はっとこども園」としても、本格的に2025年までの新たな中期計画を策定していこうとしています。理念に基づいた教育保育の再構築、食育の強化、子どもの生活に潤いをもたらす行事を進化させること、地域貢献の充実化、委員会活動の強化、社会のニーズに基づき活気ある園づくりをしていくために「保育と運営」、「アカデミー&マネジメント」をどのように実践していくか模索中です。なかなか構築が難しかったことの1つに、モチベーションとパフォーマンス向上のための人事労務に関することがあります。いわゆる「キャリアパス」を構築していくということです。新任から中堅、中堅からベテランへと人が成長していくプロセスにおいて、どのような仕組みがあるとよいのでしょうか。それぞれの人が活性化し、幸福度を高めながらやりがいをもって働き続けていくためには何がどのように必要か、保育者の働き方や「保育道」に焦点を当て最新の知見を含め、今一度見つめていこうとしています。中期計画は、多くの人々が策定に関わることによって目的や目標が磨かれ、実行に結びつきやすく、達成した際などには喜びや感動を分かち合うことができます。そのため、園長や主任を中心とした管理職だけではなく、職員1人1人の意見は勿論のこと、場合によっては保護者の方々の声も反映していきながら計画化していくつもりです。



冬の自然遊び

主幹保育教諭 はしもと 橋本

新年あけましておめでとうございます。年末にクリスマス寒波がやってきていよいよ冬本番となりました。寒くなると、つい室内ばかりで遊びがちとなります。でも、それはもったいない！冬の屋外は子ども達が楽しめること、学びになることがいっぱいあります。冬こそ戶外遊びを楽しみましょう。



冬は面白い自然現象がいっぱい！

氷が張ったり、雪が降ったり、霜柱ができたり…。冬は、いろいろな自然現象が見られます。ハーッと息を吐くと白くなるのも、冬ならではの現象です。どれも子ども達が夢中になるものばかりですね。色鮮やかな草花もあまりなく、虫達もほとんどいません。でも、白を貴重とした風景は子ども達の想像力を膨らませてくれるはずですよ。HAT 神戸内では、あたり一面真っ白の雪景色とはなりません。寒い冬の日、霜・水溜りにできた氷・白い息といった身近な白い風景には出会うことができることでしょうか。冬しかできない遊びを子ども達と一緒に思い切り楽しみ、たくさんの心が動く体験をしたいですね。

冬だからできる、冬にしかできない、楽しい遊びをご紹介します。

- ・氷のアートを楽しもう！

天気予報で「明日は、寒冷前線が近づいてきていて屋外にある水道管や道路の凍結に気をつけましょう」という声を聞いた時がチャンスです。外は自然の冷凍庫に変身します。ゼリーやプリン空き容器、バケツなど色々な物に水を入れて一晩戸外に置いておきましょう。うっすらと表面が凍るだけかもしれませんが、子ども達は大喜び。葉っぱを入れたり色をつけたりしても素敵な氷ができることでしょうか。科学の心が生まれる瞬間でもありますね。

- ・地面からどんな音がする？

冬の地面は、色々な音がします。霜柱はザクザク、雪はキュッキュッ、氷はバリバリ…。どんな音がするのか、どんな感触なのか、色々なところを散歩して五感で感じて楽しんでみてください。ただし、滑らないように気を付けてくださいね。

- ・白い息で遊ぼう！

ハーッと息を吐くと白くなります。温泉ごっこ、機関車ごっこ…これだけでも楽しめますね。

「口から煙出てるー」毎年聞かれる子どもたちの驚きの声。また、手に吹きかければ温かくなりますし、窓に吹きかければ白く曇ります。息一つで楽しめるのでお勧めです。

- ・曇ったガラスは大きなキャンパス

曇った窓ガラスに絵を描くというのは、きっとみんな一度はしたことがありますよね。室内ではありますが、これも冬ならではの遊び。手形を付けたり指で絵を描いたり…。こんな大きなキャンパスはなかなかありません。「ダメ」と言わずに、思い切り大人も一緒にしてみませんか。あとは、子どもと一緒にきれいに窓掃除もお忘れなく。満足感を味わった後は片付けもしっかりしてくれると思います。

※寒さ対策・防水対策を十分にして、冬ならではの遊びを思いっきり楽しんでくださいね。



〇さい 1さい
おひさまぐみ

のうそう おかの
能宗 岡野
やまもと まえだ
山本 前田

0歳児 7期 (1月10日~2月13日) 冬を味わう期2

- 【ねらい】 戸外で冬の寒さを感じ、身体を動かすことを楽しむ
米粉やはるさめなどの感触遊びを楽しむ
- 【うた】 ♪雪 ♪コンコンクシャン ♪ゆきのこぼろず
♪豆まき ♪いとまきのうた
- 【わらべうた】 ♪おしくらまんじゅう ♪だんごだんごくつついた
♪りんごの木 ♪もぐらどん
♪だるまさん ♪いっちくたっちく
- 【領域活動】 戸外遊び・絵の具・クレヨン・紙遊び・はるさめ・米粉
- 【食育】 みかん(1月) ブロッコリー(2月) ※出来そうな場合参加



クリスマス

クリスマスに向けて画用紙にシールを貼ったり、蜜蝋クレヨンでなぐり描きをしたりしてツリーの飾りを作りました。夏ごろにシール貼りをしたときには、自分で貼ることが難しかった子ども自分で台紙から剥がして貼ることができるようになりました。また、小さいサイズのシールも貼ることができるようになって指先を上手に使うことができ、次から次へと夢中でシールを貼っている姿に成長を感じました。たくさん貼ることができる「見て～」と手に持って保育者にアピールしていたり『どんな色がすき』の歌を歌うとシールを手に持ちながら「あか！」と色を言ったりしている子どもいました。子ども達が作ったクリスマスツリーがあることで、お部屋がとても華やかになっていました。



園庭遊び

足腰がしっかりとしてきた0歳児の子ども達。大きな園庭に出て遊んでいます。はじめは総合遊具の階段や網階段、築山などを登る姿を見ると「登れるかな？」と心配していましたが、今では一人ですいすいと登っていく姿が見られます。また、丸太橋では初めは揺れることが怖かった子ども、保育者と一緒だったり、お友達が進んでいる様子を見たりして、今では自ら丸太橋の上でグラグラと揺らしながら楽しんでいる姿があります。あっという間になんでもできるようになっていく子ども達。これから寒さが厳しくなりますが、園庭に出られる日は戸外に出て冬の寒さを感じながら遊んでいきたいと思えます。



7ヶ月とたまり



0さい 1さい
おひさまぐみ

のうそ
能宗
やまもと
山本
おかの
岡野
まえだ
前田

1歳児7期 冬を味わう期2 (1月10日~2月13日)

- 【ねらい】 冬の寒さを感じ、戸外で身体を動かすことを楽しむ
指先を使った色々な遊びを楽しむ
- 【領域活動】 クレヨン・シール・粘土(油粘土)・絵の具(タンポ)
楽器遊び・散歩(パンダコア公園・HAT内)
- 【わらべうた】 ♪おしくらまんじゅう ♪だんごだんごくっついた
♪りんごの木 ♪もぐらどん
♪だるまさん ♪いっちくたっちく
- 【うた】 ♪雪 ♪コンコンクシャン ♪ゆきのこぼうず
♪いとまきのうた ♪豆まき
- 【食育】 みかん(1月) ブロッコリー(2月)



見立てあそび

「さむ〜い!」と言いほっぺを赤くしながら、戸外で元気に遊んでいる子ども達。一方室内では、風船遊び、小麦粉粘土、わかめ、はるさめを使った感触遊び、コーナー遊び、机上遊びなど様々な遊びをしています。食紅で色を付けた小麦粉粘土がいちごに見えたり、無色の粘土がケーキ、ホイップクリーム、アイスクリーム、うどんに見えたりと見立て遊びのバリエーションが増えてきました。よく「〇〇みたい!」と教えてくれるのですが、子どもの発想の豊かさには本当に驚かされます。「これ、黄色だね」「とうもろこしかな?」とお友達同士でやりとりしている姿も見られます。見立て遊びをすることで、イメージを持って遊び、お友達と共有することで、遊びの幅も広がってきています。



ありがとうって言えたよ!

おひさま組で過ごしていると子ども達のにぎやかな声が色々なところから聞こえてきます。わらべ歌を楽しむ声、保育者とお話する声、季節のうたをうたう声に混じって「貸して」「いいよ」「ちょっとまって」「ありがとう」など素敵な声が聞こえるようになってきました。

●コーナー遊びでのエピソード

Aちゃんがおままごとの鍋で遊んでいるのを見て、自分も欲しくなったBちゃん。「貸して」とBちゃんが声をかけると「いいよ」と渡しました。その行動に対して「ありがとう」と返したBちゃん。それをきっかけに2人でのお店屋さんごっこが始まりました。物の貸し借りがきっかけになって友達とイメージを共有し、言葉を交わしながら遊びを楽しんでいる姿に成長を感じました。

夕方の時間には「なぎささん、いく!」となぎさ組で遊ぶことを楽しみにしている子ども達の姿があります。今期は、なぎさ組で給食を食べる取り組みも行なう予定です。なぎさ組へのあこがれを受け止め、成長している子ども達と冬の寒さを感じながら日々を過ごしていきたいと思えます。





2さい なごさぐみ

なかに 藤村 さい
中谷・藤村・笹井

7期（1月10日～2月13日）

- 【テーマ】 冬を楽しもう
- 【領域活動】 ひも通し～靴下や手袋を作ろう～ 鬼のお面作り
はさみ遊び～雪を降らそう～
- 【うた】 ♪ゆき ♪豆まき ♪鬼のパンツ
- 【わらべうた】 もちっこやいて おしくらまんじゅう
- 【表現遊び】 リトミック～動物になって遊ぼう～ ペープサート遊び
- 【楽器遊び】 鈴、タンブリン～楽器を自由に鳴らして楽しむ～
- 【食育】 みかんの皮むき
- 【栽培】 カブの水やり、収穫

クリスマス製作

12月に入り、ランチルームに大きなツリーが出てきました。側を通るたびに眺めては嬉しそうにしている子ども達。画用紙とシールを使って自分たちのオリジナルツリーを作りました。緑と黄緑のどちらか好きな色の木（円錐型の画用紙）を選び、キラキラのお星さまのシールや様々な色や大きさの丸いシールを貼って飾りつけをしました。シールを上の方にたくさん貼ったりまばらに貼ったり、繋げて貼ってみたりと様々で、それぞれの素敵なツリーが出来上がりました。



お正月遊び～凧揚げ～

自分達で作った凧を使って凧揚げをしました。クレパスを使っていろいろな模様を描いていきました。色にこだわりを持っていたり、ぐるぐると描く感触を楽しんでいたり、端から丁寧に色を塗ったりと様々でした。子ども達が模様を描いた凧を渦巻き状に切り、ぐるぐる凧が完成！園庭でたくさん走って凧揚げを楽しむ子ども達でした。





かじはら ひらくり
梶原・平栗

7期（1月10日～2月13日）

【テーマ】冬

【うた】♪ゆき ♪こんこんクシャンのうた ♪やさいがハックション

♪たきび ♪まめまき ♪ゆげのあさ

【絵画・造形】発表会で使う衣装や、小道具作り

【楽器】リズム打ち（鈴・タンブリン・カスタネット）・合奏

【交流】異年齢グループ・乳児交流

【園外保育】近隣の公園

・・・クリスマス製作・・・

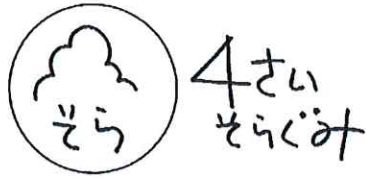
クリスマスの歌を聞いたり歌ったりすると「サンタさんのうたや!」「サンタさん、おうちにくるよ!」と、次々と嬉しそうなお子様達。クリスマスに向けて帽子とリース作りをしました。帽子作りではツリーや丸・靴下の形をした紙を、今回初めてのボンドを使って貼る活動をしました。出来上がった帽子を「はやくかぶりたい!」と言い、自由遊びの時に早速自分が作った帽子を被りながら遊ぶ姿が見られました。



・・・クリスマスクッキング・・・

ホットケーキ作りをしました。粉と水を泡立て器で混ぜて生地作り。「うわー!すごい!」「なんかさっきとちがうー!」と、初めに見た生地と、混ぜてトロトロになった生地の違いを見て、その変化に驚く姿が見られました。ホットプレートに生地を流したり、ひっくり返したりすることをお願いすると「やりたい!」と意欲的な子ばかりでした。仕上げにホイップクリームとみかんを乗せて手作りクリスマスケーキができあがりしました。クリスマスソングを流しクリスマス製作で作った帽子を被りながら食べ、みんなでクリスマス気分を楽しく味わうことができました。





いずみ
和泉

7期 (1月10日~2月13日)	
【テーマ】	発表会・節分
【折り紙】	2種類の鬼
【うた】	♪ゆき ♪ゆきのペンキやさん ♪劇中歌 ♪豆まき ♪おにのパンツ
【食育】	まめまめパーティー・大豆の加工食品について
【楽器遊び】	合奏・ピアニカ
【劇遊び】	ねずみの嫁入り
【冬の遊び】	おにごっこ・氷遊び



クリスマスツリーの貼り絵

画用紙にツリーの形を描き、その形に沿っていろいろな素材(折り紙、画用紙、フェルト、セロハン、和紙、リボン、毛糸など)を切って、貼り絵をしました。素材によってのりで付けるもの、ボンドで付けるものを分けてできるように説明しながら行なうと、分からない時は友達に聞いて教え合う姿がありました。色にこだわって貼る子や、素材にこだわって貼る子など、それぞれが自分だけのオリジナルのツリーを作っていました。背景に好きな色の画用紙を貼り、そこに好きな絵を描きました。トナカイやサンタなどを描き、クリスマスプレゼントの話を楽しみながら楽しむことができました。



クリスマスオーナメント

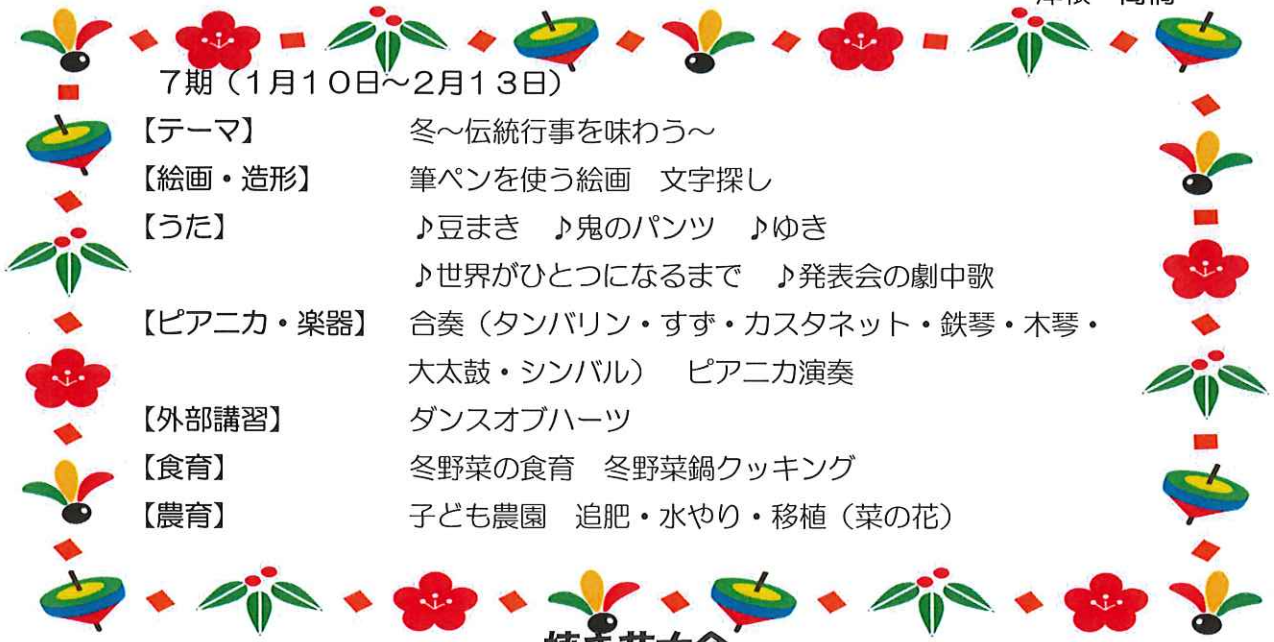
紙粘土でクリスマスオーナメントを作りました。本物のオーナメントの写真を見ながら意味について伝えると真剣に聞き、興味をもっているようでした。紙粘土を好きな形にして、ビーズやスパンコールをつけて乾かしてからマーブリングをしました。(洗濯のりの上にアクリル絵の具を垂らして模様を作り、紙粘土を入れるとそこに色が映ってマーブル模様になります)一生懸命に模様を作り、絵の具を垂らすことや模様を作ることを楽しみながら作ることができました。できたオーナメントはそら組のクリスマスツリーに飾りました。「OOちゃんが作ったオーナメント可愛い」「OOくんのきれい」と、言い合う姿も見られました。





5さい かもめぐみ

澤根・高橋



7期(1月10日~2月13日)

- 【テーマ】 冬~伝統行事を味わう~
- 【絵画・造形】 筆ペンを使う絵画 文字探し
- 【うた】 ♪豆まき ♪鬼のパンツ ♪ゆき
♪世界がひとつになるまで ♪発表会の劇中歌
- 【ピアノカ・楽器】 合奏(タンバリン・すず・カスタネット・鉄琴・木琴・
大太鼓・シンバル) ピアノカ演奏
- 【外部講習】 ダンスオブハーツ
- 【食育】 冬野菜の食育 冬野菜鍋クッキング
- 【農育】 子ども農園 追肥・水やり・移植(菜の花)

焼き芋大会

地域の方々が焼き芋大会を開催してくださいました。前日に、子ども達が自分でアルミホイルにさつま芋を包みながら「明日焼き芋大会楽しみ」「早く食べたいね」と、とても楽しみにしている様子でした。当日は、落ち葉で火をおこすことを知ったり、軍手をしてさつま芋を網の上に置き熱さを感じたり、様々なことを経験しました。焼けてきた芋の匂いに「良い匂いがしてきた」と、とても敏感な子ども達でした。待ちにまったお芋が焼きあがり、中身を割って見てみると真っ黄色で、思わず子ども達は揃って「おいしそう」と笑みがこぼれていました。食べてみると、子ども達の想像通りホカホカでとっても甘い焼き芋でぺろりと食べてしまいました。「もう1個食べたい」と1つじゃ足りない様子でした。食べるだけでなく、香りや音・色・温度などたくさんの刺激を受けることができました。

学童コーナー

灘の浜学童となぎさ児童館に、遊びに行かせて頂きました。来年小学生になる子ども達にとって「学童ってどんなところかな?」「何するところかな?」と少しの緊張と楽しみが入り混じっている様子でした。先生方が楽しい遊びを考えてくださり、ゲーム遊びを行ないました。ユーモアの溢れる面白い先生方とすぐに打ち解け、ゲーム遊びを思い切り楽しんだり、玩具で遊ばせてもらったり美味しいおやつを頂いたりなど、たくさん経験させていただきました。帰る頃には「まだ遊びたかったな」と名残惜しい気持ちもありましたが「すごく楽しかった」「また遊びに行きたいね」と、とても楽しい時間を過ごすことができました。

また、学童や児童館に通っている小学生の子ども達にも出会うことができ、より小学生になりたいと思う期待や楽しみが膨らむいい機会になりました。



つりのせいせい

ふくやま
福山



12月より幼児クラスでの、給食時のビュッフェと給食お当番を再開しました。お当番さんにどのくらいの量がいいのかを自分で申請し、ご飯→主菜→副菜→お汁→お茶→カトラリーを順番に、自分のお盆に置いていきます。コロナの影響で、2年近く保育者が配膳し、それを自分で取りに来るというスタイルで進めていました。にじ組・そら組は、ビュッフェスタイルでの給食が初めてでしたが、自分の食べたい量を申請して入れてもらうというやり方にすぐに慣れることができていました。自分で食べたい量をうまく伝えられない子には「どのくらい?」「これくらい食べられる?」「少しいい?」と、お当番さん(そら組・かもめ組)が、聞いてくれたり「〇〇入れるのを忘れているよ」と教えてくれたりと、しっかりサポートをしてくれています。トレイを使って自分の席まで運び、各机のかもめ組さんがメニューを読み上げて「いただきます」をしています。

自分の苦手なものや好きなものがまだ分からず「いっぱい入れて」という子や、「〇〇嫌いだからすこし」など様々ですが、それを伝えることができるようになってきたにじ組。そら組・かもめ組も、そんなにじ組を急かせたりせず、優しく見守ったり安心できるように声をかけたりする姿がみられます。お当番さんとの言葉でのやりとりや、目線や表情を読み取ったりし合うことも大事に考えています。普段の遊びの中とは違う関わりの中で、また一つ関係性が深まってきています。自分で食べたい量を申請することで、食べきれぬ姿も増えてきています。

今後は様子を見て、にじ組もお当番活動に参加していく予定にしています。



台所の先生から



いわさき こんどう
岩瀬・近藤

◆ 行事食の紹介 ◆

冬はクリスマスや年越し、お正月などの行事があり、食卓にはさまざまな料理が並びます。今回はお正月をテーマにお雑煮と七草粥について紹介します。

～伝統的で地方色豊かなお雑煮～

お餅は昔からお祝いごとや特別な日に食べられており、新年の豊作や健康でいられることを願い、お正月にお雑煮を食べていました。お雑煮は日本全国さまざまなものがあります。東日本では角餅、西日本では丸餅を主に使う傾向があります。また、お汁の味付けは関西地方では白味噌仕立て、東日本と近畿を除く西日本では澄まし汁が多いそうです。中には白味噌仕立てのお汁にあんころ餅が入っていたり、ぜんざいにしたり、きな粉餅にして食べたり、焼いたお餅を入れたりするなど地域や家庭によっていろいろな食べ方があるようです。

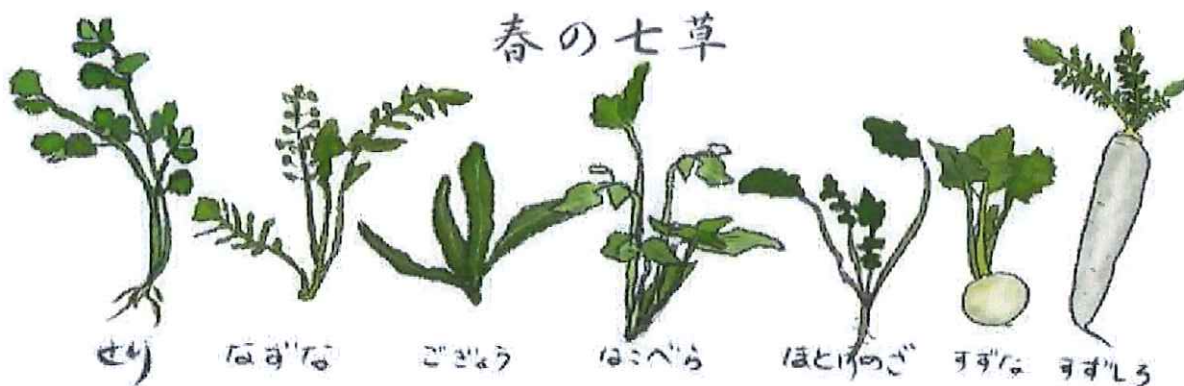


～1月7日は七草粥の日～



七草は、早春にいち早く芽吹くことから邪気を払うといわれています。そこで、無病息災を祈って七草粥を食べたのです。七草はいわば日本のハーブ、そのハーブを胃腸に負担がかからないお粥で食べるものなので、正月疲れが出始めた胃腸の回復にもいいとされています。今年度は7日のおやつで子ども達に七草粥を提供します。

七草粥に入れる7種類の若葉



ほけんだより7期



看護師 ならき 榎木

この寒い時期、外も部屋の中も空気が乾燥し、感染症（インフルエンザ、アデノウイルス、ノロウイルス、ロタウイルスなど）や又乾燥による皮膚のトラブル、ドライアイなどの目のトラブルと、様々なトラブルが出てきます。免疫力を高めこの冬を乗りきりましょう。

○感染性の胃腸炎について○

感染性胃腸炎とは⇒細菌やウイルスなどの病原体などによっておこる、嘔吐、下痢を主な症状とする感染症です。ウイルス性の胃腸炎は「お腹のかぜ、嘔吐下痢症、吐きくだし」など様々な呼び方があり（有名なのはロタウイルス、ノロウイルス）などです。

<ウイルス性胃腸炎ってどんな病気、症状は？>

・突然の嘔吐で始まり、1日何回も嘔吐を繰り返して2～3日続く場合もあり嘔吐の後に続いて下痢が見られることが多くロタウイルスの場合は酸っぱい臭いのクリーム色～白色をした下痢が見られ、だんだん水のような便になります。

<どうやってうつるの？>

人から人へ感染→感染者の吐物や便を触った手で触れた物を介して口に入る。又嘔吐物が乾燥し飛散したウイルスを吸い込み感染する。
食品からの感染→汚染された二枚貝を生や加熱不十分なまま食べることで感染。

<なぜ嘔吐するの？>

元気な時の胃腸の消化能力を「どんぶり一杯」とするとウイルス性胃腸炎になった時は胃腸の働きが悪くなり、消化、吸収能力が、「おちょこ一杯」くらいにまで小さくなっています。小さな器に多くの食べ物を入れたら器からあふれように、嘔吐や下痢をします。

<嘔吐した時の手当>

嘔吐した直後はとにかく胃腸を休めて1時間以上は何も与えない。水分を与えるにしても少量ずつ始めてください。水分で吐かなくなったら消化の良いお粥、うどんなどからゆっくり進めましょう。**乳児は特に脱水症状に注意が必要**

<自宅での嘔吐処理の仕方>：感染力が強いので自分を守りながら嘔吐処理をします。

- ① 使い捨てのマスク、キャップ、手袋、足カバー（なければビニール袋でもOK）着用。
- ② 吐物の上にぼろ布やペーパータオルなどをかぶせ汚染場所を広げないように中心に向かって拭き取ります。
- ③ 拭き取り後50倍に薄めたハイター（水500mlに対してハイター10ml）塩素系漂白剤で浸すように床を拭きとり、その後水拭きをします。
- ④ 全てをビニール袋に入れ口を縛って捨てます。
- ⑤ 嘔吐物を乾燥させないようできるだけ早く処理し、換気、うがい、しっかり手洗いします。

ウェルネス体育遊び

あけましておめでとうございます。

昨年12月の最終日には5歳児クラスのサーキット委員会による、子ども達のサーキットを実施いたしました。サーキット委員会のアイデアで、ロープにぶら下がる動きを取り入れて実施しました。5歳児はぶら下がりながら揺れて戻ってくる動作、4歳児ではぶら下がりながらわたる動作。3歳児ではぶら下がる動作を実施いたしました。普段ぶら下がる動きは実施していましたが、ロープにぶら下がる動作はいつもと違った感覚で、楽しんで取り組むことが出来ました。引き続きロープにぶら下がる動作も行なっていきます。本年もよろしくお願いいたします。

【取り組みとねらい】

サーキット運動

○3歳児クラス

U型サーキット

- ・動きを楽しみながら今まで積み重ねてきた、基本動作を確かなものにしていく。
- ・～しながら～するなどの2つの動作を同時に行ない、動きをまとめる。

○4歳児クラス

U型サーキット

- ・ひとつひとつの動作を正確に行ない、勢いをつけるところ、勢いを抑えるところなど、動作によって区別ができ、こなすことができる。
- ・複合動作②（～から～して～するという3つの動作を同時に行なう）を経験していく。

○5歳児クラス

U型サーキット

- ・連続性、スピード、リズム、なめらかさ、タイミングなどの要素によって動きを、まとめていく力を身につける。
- ・複合動作②（～から～して～するという3つの動作を同時に行なう）を確かなものにしていく。

ポイント指導

○3歳児クラス

- ・マット「前回り」⇒でんぐりがえりから起き上がりまで行なう。
- ・跳び箱「台上から～ジャンプ開脚乗り」⇒台上から跳び箱に開脚で跳び乗る。
- ・鉄棒「つばめ支持」⇒鉄棒に腕支持で支える。（出来れば前回りおりまで）

○4歳児クラス

- ・マット「坂付き後転」⇒坂を使って後ろに回る感覚を身につける。
- ・跳び箱「助走～開脚とび」⇒両足を揃えたところからすぐに蹴り返して足を開いて跳ぶ。ふみきり板で止まらず直ぐに跳べるように行なう。
- ・鉄棒「坂付き逆上がり」⇒逆さ感覚をつけて、お腹を見ながら回る感覚を養う。

○5歳児クラス

- ・マット「側転」⇒台を使用し、横に腕支持で回る感覚を養う。手足を上手に使う。
- ・跳び箱「開脚とび」⇒両足踏み切りから、着地までを実施する。
- ・鉄棒「逆上がり」⇒けり足と、脇の引き締めを意識して行なう。腕支持まで行なう。